

さいたま市長 7月定例記者会見

平成19年7月19日（木曜日）

午後1時30分開会

○ 進 行 記者クラブの皆さん、こんにちは。ただいまから定例記者会見を始めさせていただきます。

それでは、幹事社のテレビ埼玉さん、よろしくお願いいたします。

○テレビ埼玉 7月の幹事社を務めますテレビ埼玉の余野と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、本日の記者会見内容について、市長から説明をお願いします。

○ 市 長 それでは、皆さんこんにちは。定例記者会見をこれから始めさせていただきます。

議題に入ります前に、7月16日に発生をいたしました平成19年新潟県中越沖地震により亡くなられた方々に対しまして、謹んで哀悼の意を表しますとともにご冥福をお祈りを申し上げたいと存じます。また、被災されました多くの方々に対しまして、お見舞いを申し上げます。

さいたま市では、被災地への早急な対応といたしまして、見舞金及び物資の支援、保健、建築、水道にかかわる専門職員の派遣等既に実施をしておりますが、今後の状況によりましては、被災地にとって必要と考えられます支援策を実施をしまる所存でございます。また、さいたま市内各区役所に義援金箱を設置をしておりますので、市民の皆様のご協力もお願いをいたしております。

それでは、本日の議題に入ります。議題1、「鉄道博物館開館記念事業 in さいたま」の実施について説明をいたします。

さいたま市では、この秋、市内大成地区に建設をされます鉄道博物館の開館にあわせて、「鉄道博物館開館記念事業 in さいたま」の冠を付しまして、複数の記念事業を計画をいたしております。

まず第1弾は、漫画会館で7月21日（土）から開催をいたします「漫画で描く！アイ ラブ てつどう！！展」でございます。

現在活躍中で、さいたま市民でもある4人の漫画家さんに、「鉄道文化」

をテーマにした新作漫画を描いてもらい、展示を行うものでございます。

あらい太朗さんには「鉄道のある風景」、それから鉄道機関士から漫画家になったという白吉辰三さんにはご自身の経験をもとに「鉄道マン・ライフ」、藤井龍二さんには「車両の魅力にズームイン」、それから松沢秀和さんには「マニアな人々・鉄ちゃん」というように、それぞれの漫画家に得意の切り口で鉄道漫画を描いていただけることになっています。

そのほかにも、鉄道の風景写真や歴史を物語る資料を含めた盛りだくさんの内容になっておりますので、大勢の方のご来訪をお待ちをいたしております。

次に、第2弾といたしまして、市立博物館で平成19年10月6日(土)から、第31回特別展「鉄道の街 さいたまー鉄道博物館がやってきた」を開催いたします。

さいたま市と鉄道の出会いは、明治16年に上野～熊谷間の開通により浦和駅が開業したことに始まりますが、その2年後の明治18年に東北線の分岐駅として大宮駅が開業し、大宮工場、大宮機関庫など次々と開設をされ、交通の要衝としての役割を果たしてまいりました。

そこで、大宮駅をはじめとした周辺の鉄道関連施設の歩みなどを実物資料を中心に紹介しながら、さいたま市の鉄道にまつわる歴史と文化について紹介をするものでございます。

続きますので第3弾は、10月8日(月)体育の日ではありますが、「鉄道文化」をテーマに記念講演会を開催いたします。

鉄道に造詣が深く、「汽車旅放浪記」など、鉄道と旅をテーマにした作品を執筆しておられます作家の関川夏央さんを講師に迎えて、鉄道の魅力や奥深さに触れながら、多くの市民の皆さんと、楽しいひとときを過ごしたいと思っております。

第4弾といたしまして、10月20日(土)、21日(日)の両日に、地元大宮区で「2007秋・鉄道博物館開館記念おめでとう大宮区民鉄道まつり」が開催をされます。

具体的な内容につきましては、現在計画中ですが、「鉄道博物館と鉄道のまち大宮」をテーマとした講演会・シンポジウムなどを予定をしています。

また、9月18日から、これは火曜日ですが、市役所本庁舎におきまし

ては庁舎に横断幕を、地元の大宮区役所、北区役所では、それぞれ懸垂幕を庁舎に掲げて、鉄道博物館の開館を市民の方々と一緒にお祝いをするとともに、「ようこそ鉄道博物館」という思いを広く伝えてまいります。

議題1については、以上でございます。

続いて、議題2、「第28回八都県市合同防災訓練（中央会場）「平成19年度さいたま市総合防災訓練」の実施について説明をいたします。

本年度の総合防災訓練は、さいたま市が政令指定都市となり、八都県市の仲間入りをしてから初めて合同防災訓練の幹事市を担当いたしまして、第28回八都県市合同防災訓練の中央会場として位置づけ、例年の総合防災訓練を大幅に上回る規模で実施をいたします。

9月1日の「防災の日」に、桜区の秋ヶ瀬公園をメイン会場にして、市民、行政及び防災関係機関が、自助・共助・公助の理念のもと、自主防災意識の徹底、地域住民をはじめとした市民の参加により、防災力の強化と防災意識の高揚を図るとともに、八都県市をはじめ国、防災機関との連携と広域応援体制の充実を図ることを目的にして実施をいたします。

今回の訓練は、予知対応型と発災対応型の2つの訓練を実施いたします。

予知対応型の訓練は、東海地震注意情報が発表されたことを想定をして、大宮駅周辺の大型店舗において、混乱防止訓練、避難誘導訓練などを行います。

発災対応型の訓練は、さいたま市を震源とする大規模な地震が発生、地震の規模はマグニチュード6.9、震度6強以上であり、市内全域に被害が発生をし、市南西部（桜区）におきましては火災が多発し、家屋が倒壊をして負傷者が数多く発生しているとの想定で行います。

具体的な訓練の内容ではありますが、例年の防災訓練の内容に加えて、一つとして、大地震により病院等の医療施設の損壊を想定して、航空機を利用して負傷者を県外の医療施設へ搬送する医療救護連携訓練。

二つとして、8月31日（金）の夕刻から翌朝まで、大宮区の三橋小学校において、住民が主体となって組織をする避難場所運営委員会による避難場所夜間運営訓練を実施。

三つとして、陸上の交通に障害が発生をした場合を想定をして、河川を

利用した船舶による帰宅困難者対策訓練を、本市から千葉市と川崎市の2つのルートと、東京から本市へのルートで行います。

参加機関は、約100機関となりまして、参加予定人員は全体で約6,000人となります。

このような防災訓練を通じて、市民一人一人が、ふだんから大きな地震が起きた場合に、「自ら何をすべきか」を考え、災害に対して十分な備えが必要であり、防災に関する意識の高揚と知識の向上を図る機会とするものでございます。

本日ご用意いたしました議題は以上でございますが、お手元に夏祭りのパンフレットを用意いたしました。「与野夏まつり」が先日の土曜、日曜に開催されました。ちょうど台風が来ておったんですが、その合間でおみこしも出すことができました。

続きまして、「浦和まつり」、それから「大宮夏祭り」、「岩槻まつり」など各地の特色を生かしたイベントが盛りだくさんであります。

また、ことしのさいたま市花火大会は、「大和田公園」、「浦和競馬場」、「岩槻文化公園」の3会場に分かれて開催をされますので、また取材方をよろしく願いをいたします。

とりあえず以上です。

○テレビ埼玉

ありがとうございました。

ただいまの市長の説明について、質問がありましたらお願いします。

○ NHK

冒頭に話されました地震被災地への支援なんですけれども、もう少し詳細を知りたいんですが。

○ 市 長

はい、わかりました。被災地への支援ですね。

○ NHK

はい。

○ 市 長

支援の具体的な支援策としてですね、一つは、局単位で申し上げますと、総務局の方からは災害見舞金50万円、これは7月18日に新潟県の東京事務所へお渡しを既にしてしております。それから、援助物資として簡易トイレパック、「ベンリー袋」と言っているんですけど、3,000袋を提供。

それから、保健福祉局の方で保健師2名を1チーム4泊5日で2カ月間派遣をし、保健活動を行うことにしておりまして、派遣期間は7月の18日水曜日から2カ月間の予定でございます。

先ほど申し上げましたが、各区の区役所に義援金箱を設置をしております。

それから、建設局、これは被災建築物の危険度の判定をするためということでありまして、応急危険度判定士4名の派遣、これを行う予定にしております。7月の19日を派遣の日としております。

それから、水道局、これは水道の施設復旧に向けまして、水道局の職員5名、それから水道の工事事業者6名、合計11名、これを7月の19日から24日まで、6日間派遣をする予定です。

この前の山古志村のときにはですね、やはりこの柏崎のごみ焼却場が煙突の破損で使えないという報道がありましたけれども、前のときもやはりそんなようなことありましてですね、じんかい収集車、これを派遣をして、ごみごと持ち帰ってきて、それでさいたま市の焼却場で焼却したと、こんなこともございました。このたび見ますと、近隣のところで大体間に合うようなんですけど、もし要請があればですね、またそのようなこともやっていきたいなというふうに思っております。

大体そんなところですが、よろしいですか。

- NHK ちょっと細かいんですけども、義援金なんですけれども、いつから募金箱設置されて、いつごろをめぐりに送金というか。
- 市 長 7月の、あれは17日かな。
- 副市長 17日……
- 市 長 17日から設置だね。
- 市 長 はい。一応来年の1月16日まで設置をしておくということです。
- NHK ありがとうございました。
- テレビ埼玉 八都県市防災訓練なんですけれども、大幅に例年より上回る規模で実施ということなんですけど、参加予定人員6,000人になっているんですけど、通常って大体どれぐらいが毎年。
- 市 長 毎年、通常は2,000人ぐらいでしょうかね。防災訓練に参加をしていただく自主防災組織、自治会とほとんどオーバーラップしていますけども、その方々の人数がかなり多いということですね。それで、実施、参加していただいて、実際にいろんな食糧ですね、乾パンだとか、それから冷凍の戻したものだとか、そんなものをちょっと食べていただいたり、そう

いうことをやっています。

○ 読売新聞 博物館の関連なんですけど、毎年70万人が来場すると見込まれている施設なんですけども、例えば大成駅の会場近くに、例えばさいたま市のアンテナショップみたいなものとか、何か70万人をうまくさいたま市に利用するような仕掛けづくりというのは何か考えているんでしょうか。

○ 市長 そうですね。特に今大宮駅周辺の商店街の方ですね、この方々が何とか回遊性を持たせて、そして買い物をしていただきたいと、こんなご希望ございまして、一つは大宮駅の西口から鉄道博物館に向かって約400メートルぐらいですか、バリアフリーに今工事をこれから始めるということになっております。

今のところアンテナショップ的なことは考えていないんですけども、各商店街がそれぞれ工夫を凝らしてですね、ぜひ入ってもらいたいと。いわゆる新交通システムでいきなり行かれちゃうと、ちっともお金が落ちないんで、少し考えてくださいよというようなことは言われています。

○ 読売新聞 例えばさいたま市で何か旗を振ってやるということがあるんでしょうか。それとも地元任せ……

○ 市長 またいろいろ考えていきたいなと思っているんですけども、そういう店を出す場所ですよ、場所をどうするか。ご承知のように、鉄道博物館の予定地は全部JR東日本の土地でございますので、そういう中での、博物館の中でのいろんなお土産ですとか、そういったものはもちろん考えていますけれども、それを博物館外に出せるかどうかというのは、これからまた相談しなきゃいけないのかなという感じです。

○ 読売新聞 いろいろやりたいことというのは、構想としてあるんでしょうか。

○ 市長 そうですね。やっぱり鉄道のまちですから、そういった意味で例の、ふれあいフェアですか、イベントなんですけど、あれも3万人ぐらい見えるんですね。それで、我々から見ると何だかよくわかんないその部品がですね、かなり高額で売れるというふうな事実もありますので、そんなショップも考えていきたいなと思っています。

○ テレビ埼玉 ほかに市長の説明についての質問いかがでしょうか。よろしいでしょうか。では、質問がないようですので、幹事社として代表質問をさせていただきます。質問はまとめて行いますので、よろしくお願ひします。

まず、1点目なんですけれども、先週参議院選挙が公示され、熱い選挙戦に突入しました。政治と金や年金問題などさまざまな課題がクローズアップされていますが、市長は今回の選挙がどのような意味を持つとお考えでしょうか。選挙戦も中盤に入りましたが、今後どのような論戦を期待されますか。また、市長は県内の候補者の応援演説に行かれる予定はあるのか、あわせてお聞かせください。

2番目の質問として、5月から先月のわずか1か月間で、さいたま市内において、乳幼児が親の虐待によって大けがをしたり死亡する痛ましい事件が合わせて3件起きました。1か月間で3件の虐待事件が続くというのは、かなり異常な事態だと考えます。なぜ市内で虐待事件が頻発したのか。その背景には何があると市長はお考えでしょうか。また、先日、虐待防止に向けた検証会議が開催されましたが、これ以外にも虐待防止に向け、どのような対策を進めるべきだとお考えでしょうか。

以上、2点お願いします。

○ 市 長

まず、第1点でございますが、参議院選挙、熱い選挙戦だと思ったら、まだ涼しいんですけどもですね、いずれにしても公示をされて、もうそろそろ前半が終わろうかなという時期に入ってまいりました。

安倍政権という政権は、いわゆる小泉政権からの禅譲という形でありましたので、選挙を得ていない内閣ですから、今回の国政選挙は初めてそういった国民の審判を仰ぐという選挙になろうかというふうに思っております。いずれにいたしましても、各政党、それから候補者の方々、今一生懸命頑張っておられますので、ご健闘はお祈りをいたしたいというふうに思っています。

また、このたびの選挙の話題といいますか、焦点といいますか、年金、それから税制、それから憲法改正、こういったあすの日本を左右する重要課題を抱えての選挙戦である。与野党とも参議院での過半数の確保を目指した、まさしく天下分け目の戦いということになろうかなというふうに思っています。

何年前でしょうかね、やはり参議院議員選挙で社会党が大勝をして、消費税のときでしたかね、「山が動いた」という表現を社会党の党首がされましたけれども、参議院というのはご承知のように6年間、1回当選すると

6年間任期がありますから、これで一回逆転をするとですね、また再逆転をするというのにかかなりの年数がかかるということは、これ事実なんです。ですから、今度の選挙戦の結果がどうなるかによってですね、まさしく天下分け目ということが言えるんじゃないでしょうか。

埼玉選挙区は、定数3に対して6党7人ということで、大勢の方が立候補されておられます。有権者の方々は、やはり公約ですとか、人柄ですとか、そしてさっき申し上げた争点に対する各候補者の判断ですとか、そういったことを参考にして判断していただきたいんですが、やはり何といっても投票所に足を運んでいただくということが一番大事であろうというふうに考えております。

せんだって某新聞にですね、さいたま市は不在者投票の投票券の配布が遅いじゃないかという趣旨の記事が出ておりましたけれども、あれは法律で実は公示日じゃないと配っちゃいけないことになっているんですね。基準日が公示日の前日でありまして、その公示日じゃないと配っちゃいけないと、こういう法律になっていまして、事前に配布ということはできませんので、それについてはひとつご理解をいただきたいなというふうに思っています。

また、候補者に対する応援演説ですが、選挙戦が公示されましてから既に代理を含めまして要請ございました候補者の応援や激励には出向いております。また、日程的に都合がつけばですね、基本的にはそういった要請があれば応援をしたいなというふうに思っているところであります。もちろん市議会与党ということになるかと思えます。

それから、2点目の乳幼児の虐待問題であります。さいたま市では平成15年度に児童相談所を開設をしたんですが、その開設以来ですね、初めてこの児童虐待死亡事件が発生をいたしました。しかも、続けて2件も発生をいたしまして、大変残念でありまして、何でこんなことができるのかなと、心を痛めているところであります。

これらの3事件が起こった背景は、やはり家庭が不安定であったり、それから養育力に乏しく、子育てをする上での親戚縁者の支援がなかったりなど、家族関係が複雑かつ希薄なことがあろうかというふうに思っております。

また、虐待事件の背景、一般的に考えますと、地域社会のかかわりが持たなくなってきたことや家庭の養育機能の低下などが背景にあるかというふうに思っています。前は、よく3世代同居というふうな大家族のもとです、子育てが行われておりますが、現代では本当に核家族化が進んでおまして、地域社会との接触が乏しい。それから、地域から孤立をしがちだ。育児ストレスを抱えながら子育てを行っている家庭の割合が高くなっていると考えられまして、それが虐待の原因にもなっているんじゃないかなというふうに思います。

具体的な対策ですけれども、6月の19日に開催をいたしました庁内関係所管による児童虐待防止緊急対策会議の結果、この虐待通報などの協力を求めるチラシを4万枚作成をいたしまして、各自治会を通じ、市民の方々への周知を図ること、そしてまた主任児童委員への児童虐待防止のための研修を半年繰り上げて、ことしの7月に実施をすること、また市内の保育施設や幼稚園、市内公立小中学校に対しまして、虐待の早期発見と通告のための児童の観察の徹底などについて通知を行うなどの対策を実施をいたしております。

また、児童虐待の通告に応じられますように、平成17年6月から24時間虐待電話相談を実施をしていますが、市報やホームページにより、虐待相談や通告の内容の案内をさらに行ってまいりたいと思っています。

今後についても、市民の協力、また地域の関係機関との連携を強化をして、地域ぐるみでの防止策を推進をしてまいります。

次に、子育て家庭の地域からの孤立化や育児不安などを解消する対策ですが、子育て中の親子同士の触れ合いの場を提供する児童センター、それから子育て支援センターなどの事業を実施をしておまして、またネット上での保護者同士の情報交換の場を提供する子育てWEB事業などを実施をし、養育者が1人で育児不安等を抱え込むことのないよう支援をしているところでございます。また、本年6月から子供の急な病気に困ったときのためのさいたま市子ども急患電話相談をスタートするなど、新たな事業の展開を図っています。

今後、これら事業の周知の徹底、充実などを行いまして、このような悲惨な事件を少しでも未然に防ぎたいというふうに思っております。

とりあえず以上です。

○テレビ埼玉

ありがとうございました。

ただいまの市長の説明について、質問がありましたらお願いします。

幹事社質問についての質問がないようでしたら、そのほかの件で質問がある社は、質問をお願いします。

○ 読売新聞

地震の関係なんですけども、今回の新潟の中越沖地震で古い家屋の多くが倒壊して、その中でも高齢者が被害に遭ったケースが目立つわけですけども、その背景として、さいたま市も含めてどこでも古い家屋への補強の補助というか支援はやっていると思うんですが、実際年金生活者が将来に備えてお金を出して補強するということに対して、気持ち的に踏み切れない部分があると思うんですよね。

○ 市 長

あるでしょうね。

○ 読売新聞

そういう背景があるとして、例えばさいたま市で、今後例えば世代、年齢別とか、あと所得に応じてですね、その支援の厚みを変えるとか、何かそういった工夫があってもいいのかなと思うんですけど、その辺のお考えはどうでしょうか。

○ 市 長

まだそこまではいいいけませんですね。やはり今補強等もですね、民間の方で少しやっていたつけ。

○ 副市長

はい、実際やっています。

○ 市 長

じゃ、ちょっとそちらから。

○ 副市長

基本的には耐震診断、改修助成金の交付などをやっています、また一昨年から福岡県の西方沖地震とか能登半島地震があったんで、今年度住宅の耐震相談を、今まで年2回だったんですけど、30回実施するというような形で、まず相談をしてほしいと、また具体的な費用等については助成金でできるのか、あるいはご本人の借り入れ等ができるのか、そこら辺についてお互い相談しながらやっていきたいと思いますということで、今年度も今30回ということで、7月から順次始めております。

○ 読売新聞

なかなか後継者のいないとこだと、なかなか安い工事じゃないでしょうから、難しい部分はあるのかなとは思いますがね。

○ 市 長

何ていうんでしょうかね、一つはそういう長い間住み暮らした土地ですね、余生と言うと失礼なのかもしれませんが、住み続けていただ

きたいと、こういう思いはあります。しかしながら、一方では家屋というのは全部個人財産ですから、それに対して公が建築をする、改修をすること自体に対して助成ができるかできないかという非常にデリケートなことじゃないか。ですから、今副市長から申し上げましたようにですね、耐震診断、これを受けてくださいよ、そういったことについては市の方も助成をしますよ、こういうことで予防策に重点を置いていると、こういうご理解いただければというふうに思うんですが。

- 埼玉新聞 支援策で可能性が今のところでありそうなものって、ほかにあるんじゃないかな。
- 市長 今度のですか。
- 埼玉新聞 ええ。
- 市長 そうですね。あと可能性があるのは、塵芥収集申しあげましたんで、あと道路、下水道の応急復旧をやるというとき、職員派遣してくれというのはありましたですね。これは建設局関係になりますけれども、出したい。それから、医師、看護師、薬剤師、こういった職員の派遣もですね、もし要請があれば、これは市立病院になりますけれども、やっていきたいです。それから、自転車、再生整備自転車、要するにいろんな放置自転車の部品をくっつけて再生した自転車なんですけども、これらを20台ぐらい、場合によっては差し上げる準備はしてございます。大体そんなところですよ。
- 埼玉新聞 ブレイブハートの活躍をかなり期待して待っているんですけど、なかなか出番がないんですが、今回は予定は全然ないんですかね。
- 市長 そうですね。もうあれは今のところございません。
- 副市長 一応発災当日には準備をしていましたけれども、今回の地震は柏崎中心に起きていて、逆に言うと新潟県内のほかの市町村が余り被災がない。ですから、多分新潟県内で相当程度の救助活動ができて、あとヘリ関係が、埼玉県も行きましたけど、東京とかで幾つかのヘリが行っていますけども、第一義的には新潟県内、第二義的には近隣の県でやりますんで、それ以上になると多分さいたまに来るんでしょうけど、そこまでいかなかったということですよ。
- 市長 割合スポット的なんですよね。柏崎のところがぎゅっと、こう被害が大きいんですけども、その隣接市町村余り被災ないんですね。ちょっと特徴

的かなというふうに思っていますけども。

- テレビ埼玉　市長、盆栽なんですけれども、その後高木さん側から何かアクションというか。
- 市　長　　そうですね。今度高木さんの方で相続人が決まると、こういう連絡いただいたんで、これからその相続人を対象にしてですね、どうするかご相談申し上げたいというふうに思っています。今のところまだそんな段階なんです。
- テレビ埼玉　その他の質問いかがでしょうか。
- 東京新聞　盆栽の関連なんですけど、相続人はどなたになったのでしょうか。
- 市　長　　まだ名前明かしていただけていません。決まったということだけなんですけど。
- 東京新聞　まだ相談もスタートされていないということになるんですね。
- 市　長　　はい。
- テレビ埼玉　では、よろしいでしょうか。
どうもありがとうございました。
- 市　長　　はい、どうもありがとうございました。
- 進　行　　ありがとうございました。これをもちまして、定例記者会見終わらせていただきます。本日はありがとうございました。

午後2時03分閉会